

「エコ・イベントふくおか」 手引書

「エコ・イベントふくおか」手引書の活用について

イベントは、環境面から見るとエネルギーや資源を大量に消費し、ごみを大量に発生させるなどの課題があります。

そこで、イベントにおける環境への負荷を低減させる取組を推進するため、「エコ・イベントふくおか手引書」を作成しましたので、手引書に基づき環境に配慮した取組を実施してください。

【取組内容】

イベントは、目的、形式、規模など多種多様ですが、環境への負荷を少なくするために主催者が取り組む内容を、大きく5分野（①ごみ ②省エネルギー・省資源 ③環境啓発 ④運営 ⑤交通）に分類し、取組項目26項目を設定しました。

【対象事業】

○本市が主催又は共催するイベント
（催し、講演会、展示会、式典、祭りなど）

【取組手順】

- 1 手引書の取組内容を確認しながら、該当する取組項目について、イベント開催時までに準備する。
- 2 イベント開催時は、具体的な取組の状況等を確認する。
- 3 イベントの具体的な取組結果等を自己チェック欄に記載する。
（実施できたものには○、一部実施したのものには△、実施できなかったものには×を記入）
- 4 実施できなかった項目について、見直し、次回に活用する。

平成31年4月改訂版
福岡市環境局



福岡市の環境ソールキャラクター
「エコッパ」

1 ごみ

できるだけごみを減らし（リデュース），繰り返し使えるものは使い（リユース），できるものは資源として利用する（リサイクル）ように工夫することが大切です。

イベントの計画段階から，物品の購入やパンフレット作成等においては，まずはリデュース，そしてリユース，3番目にリサイクルを十分考慮し，ごみの発生回避・資源の循環利用に努めてください。

自己チェック

取組項目	1 ごみ箱の設置数は，ごみの発生を抑制するため必要最小限とする。 * 飲食提供のない場合：参加者用のごみ箱は設置しない。	
	2 廃棄するものと資源化できるものを分別し，適正に処分する。 ◇ 廃棄するもの：もえるごみ，もえないごみ ◇ 資源化できるもの：缶，びん，ペットボトル，古紙，食品廃棄物	
	3 広報は，既刊誌・フリーペーパーやインターネット・ラジオ・テレビ等を有効利用して，新たな印刷物など廃棄物の発生を抑制する。	
	4 パンフレット等は，原則として両面を使用し，無駄が発生しないよう印刷数量を設定する。	

<イベントで発生するごみの処分・リサイクル>

リサイクル業者一覧等を掲載した「ごみ処理ルールブック」を，環境局HPに掲載しています。
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/jigyokeigomi/hp/jigyogomirule.html>

2 省エネルギー・省資源

イベントでは，エネルギーや資源を大量に消費することが多いので，これらの無駄を減らし，環境への負荷を低減する取組が大切です。

冷暖房の適正温度の設定等による節電，販売物品等は，過剰包装しないなどエネルギーや資源の有効活用に努めてください。

自己チェック

取組項目	1 屋内会場の冷暖房は，運営に支障のない範囲で省エネ設定とする。（暖房時室温20℃以下，冷房時室温28℃以上）	
	2 物品購入は，「福岡市グリーン購入ガイドライン」により環境に配慮されたものを優先する。	
	3 販売物品等は，過剰包装をしない。商品提供時に，安易にレジ袋を使用しない。	
	4 仮設物，誘導看板や会場装飾等は，過度にならないようにする。	
	5 洗面所等に節水を呼びかける表示をする。（既に表示がある場合や張り紙等が困難な場合を除く。）	
	6 リユース食器を使用する。	
	7 デポジット制等により，リユース食器を返却してもらうシステムを導入する。	

<グリーン購入>

商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え，価格や品質だけでなく，環境負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入すること。

※「福岡市グリーン購入ガイドライン」は，環境局HPに掲載しています。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-seisaku/shisei/greenkounyu.html>

3 環境啓発

イベントは、多くの人に参加する場であり、環境配慮への理解と行動を呼びかけるよいチャンスです。

イベント会場での環境配慮の意識や行動が、さまざまな場面で、市民のみなさんの環境配慮への実践行動に結び付くように努めてください。

自己チェック

取組項目	1 環境に配慮したイベントであることをパンフレット等に明記する。 (例:このイベントは、100%グリーン電力で賄われています。)	
	2 イベント終了時に、参加者にも会場周辺の清掃を呼びかける。	
	3 参加者には、事前にマイバッグやマイボトル持参を呼びかける。	
	4 パンフレット等の印刷物は、「福岡市グリーン購入ガイドライン」に基づき再生紙等を使用し、環境配慮マークを紙面に表示する。	
	5 販売物品等は、地元で生産されたものを優先する。	

4 運営

イベントにおいて、組織的に環境配慮を行うためには、運営体制を整えておくことが大切です。

本手引書の取組項目をスタッフ等が共有するなど環境に配慮したイベントになるよう努めてください。

自己チェック

取組項目	1 環境配慮の責任者を選任する。	
	2 責任者は、本手引書の取組項目をスタッフ（参加団体・協賛企業等を含む）に周知する。	
	3 既存施設を利用し、自然環境の改変は行わない。	
	4 音、振動や照明など周囲の生活環境に配慮する。	
	5 イベントの運営、管理、設営、印刷物及び廃棄物処理等を外注する場合は、ISO14001やエコアクション21など環境マネジメントシステムを認証・取得している事業者を優先して発注する。	
	6 イベントにおいて排出されるCO ₂ を打ち消すカーボンオフセットや、グリーン電力の購入を行う。	

<ISO14001>

国際標準化機構(ISO)が1996年9月に制定した環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格。

ISO14001は環境に配慮し、環境負荷を継続的に減らすシステムを構築した組織に認証を与え、というマネジメントシステム規格。

<エコアクション21>

中小企業などが環境への取組を効果的・効率的に行う環境マネジメントシステムで、環境省が策定したガイドラインに基づく認証・登録制度。

5 交通

参加者の会場への行き帰りの交通手段がもたらす排気ガスや渋滞によるエネルギーロスを減らすなどの取組が大切です。

会場へのアクセスの効率化やマイカーの自粛などを講じ、二酸化炭素削減に努めてください。

自己チェック

取 組 項 目	1 会場は、マイカーの利用を抑制するため公共交通機関の利便性を考慮して選定するとともに、事前に公共交通機関の利用を広報する。	
	2 運営スタッフは、公共交通機関を利用して来場する。 (やむを得ない場合は、乗り合わせて来場する。)	
	3 駐車場がある場合は、駐車場に看板等の設置によりエコドライブやアイドリングストップを呼びかける。	
	4 会場が分散している場合や、公共交通機関の利用が不便な場合は、必要に応じてシャトルバス等を運行する。	

<エコドライブ10のすすめ>

1. ふんわりアクセル『eスタート』
2. 加減速の少ない運転
3. 早めのアクセルオフ
4. エアコンの使用を控えめに
5. アイドリングストップ
6. 暖機運転は適切に (エンジンをかけたらずぐ出発しましょう)
7. 道路交通情報の活用
8. タイヤの空気圧をこまめにチェック
9. 不要な荷物は積まずに走行
10. 駐車場所に注意 (違法駐車はやめましょう)



問い合わせ

環境局 環境政策部 環境政策課 広報啓発係

T E L : 092-733-5381 (2319)

F A X : 092-733-5592

E-mail : k-seisaku.EB@city.fukuoka.lg.jp